

# 『広がる世界』

神戸在住・20代女性



家と会社の往復だけで過ぎる毎日が嫌で何かを始めたかった私。

中・高・大と10年間、英語を勉強したはずなのに話せない私。

英語さえ話せないのにスペイン語やフランス語なんてとんでもない、と思っていた私。

「7ヶ国語で話そう」というポスターを見た時、今更勉強は億劫だけど・・・何か惹かれるものがありました。

## 人の輪の中でいつの間にか

実際に参加してみると、子供も社会人や主婦も、いろんな世代の人が集まって英語・中国語・韓国語はもちろんのこと、イタリア語・ロシア語などで自己紹介したり、沢山のことを楽しそうに話していました。私が入会してしばらくした頃、何故かタイ語が流行りだして、私も！私も！と、みんながタイ語で自己紹介をし始めました。何回、何十回と繰り返されるタイ語の自己紹介。おかげでいつの間にか私もタイ語の自己紹介ができるようになったのです。まさか自分がタイ語で自己紹介をするようになるとは、思っても見ないことでした。

## 苦手だった英語が...

近所のメンバー宅にタイの女性がホームステイに来た時のことです。彼女はとても流暢に英語を話しました。

学生時代は英会話の授業が大嫌いな私でしたが、彼女とはとても楽しく英語で会話することができたのです。どうして楽に話せたのだろうと考えてみると、たぶんたくさんのことばを聞くうちに英語も細かい一語一語にこだわることなく、全体の内容を捉えて聞いていましたし、彼女に伝えたい気持ちに自然と英語がついてくる感じで間違いを気にする事もなく話せていました。



## ホームステイに行っちゃった

昨冬、ホームステイ交流でMexicoに行きました。ある日、ホストシスターと叔父さん夫婦だけで出かける事になりました。着いた所は、親戚の家でした。いつも一緒に居るホストパパもママもいないし、初対面の人たちの中、私は少し緊張していました。叔父さんが私のことを紹介してくれました。頷きながら聞いていた親戚の人が、私に、質問をしてきました。数を尋ねられてる？とっさに年齢のことかな？と思い「ベンティオーチョ(28)」と答えると、みんな驚いた顔をします。なんで？？横にいたホストシスターが「年齢じゃなくて家族の人数を聞いたのよ」と教えてくれました。慌てて訂正すると、みんな大爆笑しながら納得してくれました。間違えて恥ずかしいというよりもみんなとの距離がグーッと近くなるのを感じました。初めて出会う(スペイン語を話す)人たちと自力で精一杯対話しようとしている自分に驚きながらも、とても楽しく充実した時間でした。今では、ホスト家族や友達と暮らすMexicoと彼らの話す言語スペイン語は、私にとって身近で特別な存在です。